

熊谷市、行田市、鴻巣市 各市有施設屋根貸し太陽光発電事業へ参加

平成 25 年 4 月 25 日 埼玉建設新聞

平成 26 年 8 月 13 日 埼玉新聞

6 事業者を内定

熊谷市
熊谷市は、廃棄物処分場埋立完了地などを貸し、メガソーラー発電を行う3事業者と市有施設の屋根を貸して太陽光発電を行う3事業者(5物件)をこのほど内定した。土地貸し発電(メガソーラー)施設の内定者および施設名は、ミッソーロ有機センター・堆肥化コ(千代田区)が善ヶ島棟、大里体育館の2施設、一般廃棄物最終処分場、FI Power(品川区)が荒川中学校・体育館と

土地貸しメガソーラー発電など

成田小・体育館の2施設。今後のスケジュールは、土地貸し、屋根貸しとも同じで、内定事業者は5月までに、各施設管理者と工事計画、東京電力と系統連携、経済産業省と発電設備認定の協議を行う。さらに、6月に事業者として正式決定、貸借契約等を締結して着工する。工期は3〜5カ月で、9月〜来年1月に発電開始の予定。

30施設で太陽光発電

屋根貸し 3事業者と締結式 行田市

行田市は、「市有施設の「屋根貸し」による太陽光発電事業基本協定合同締結式」を市役所で開催した。市は昨年10月、市有施設の屋根を貸し付けし、太陽光発電設備を設置・運営する市内事業者を募集。同11月に3事業者を選定し、事業者は市内30施設で20年間にわたる太陽光発電事業を実施する。貸出額は約3400万円。協議の結果、行田エコタウン



太陽光発電事業基本協定合同締結式に参加した工藤正司市長(中央)と事業者代表者(行田市役所)も奇与できれば」とあいさつ。同連合会代表構成員で小沢電気工事の山本和利社長は「地元企業として、行田の発展や環境教育に貢献していきたい」と話していた。(桜井和憲)

鴻巣市ホームページ

市有施設屋根貸し太陽光発電事業を開始しました

平成26年1月に鴻巣市市有施設屋根貸し太陽光発電事業者が内定し、平成26年7月15日に基本協定書を締結しました。8月中に発電設備の設置工事を行い、9月10日から発電事業を開始しました。

【事業の内容】

対象施設	箕田公民館
発電事業者	<u>イーテクノ株式会社</u>
事業者所在地(事業本部)	熊谷市間屋町2丁目2番6号(鴻巣市上会下563-1)
設置面積	330.6平方メートル
発電出力	47.3kw
年間使用料(市歳入)	66,200円
事業期間	平成26年7月22日～平成47年3月31日